

**平成30年度
第4回藤島地域振興懇談会
会議録(概要)**

期 日：平成31年3月13日(水)

場 所：藤島ふれあいセンター多目的室

第3回藤島地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 平成31年3月13日(水) 午後4:00～
- 会 場 藤島ふれあいセンター多目的室
- 出席委員（五十音順） 9名
石川均、石塚健、上野隆一、佐藤歩二美、田中壽一
高山千代子、富樫達喜、成澤正喜、半澤正昭
- 欠席委員 6名 阿部啓郎、井上佳奈子、佐藤耕喜、菅原きよ、本間亮
前田恵
- オブザーバー 県立庄内農業高等学校校長 青柳晴雄
- 市側出席職員
〈藤島庁舎〉 支所長 武田壮一、市民福祉課課長 伊原千佳子、
市民福祉課健康福祉主査 小林学
産業建設課課長兼エコタウン室長 小林正雄、
産業建設課課長補佐 成澤啓雄、エコタウン室主査 高橋智也
産業建設課農業振興専門員 鈴木理恵
農業委員会参事兼事務局長 三浦市樹
総務企画課課長 菅原司、総務企画課課長補佐 叶野仁
総務企画課コミュニティ防災主査 齋藤隆、専門員 工藤仁
総務課地域まちづくり企画調整主査 齋藤優、総務企画課専門員 叶野進
〈本所〉 企画部地域振興課地域振興専門員 本間育子
- 次 第
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 報 告・協議
 - ・藤島地域振興計画（案）について・・・最終案
 - ・平成31年度まちづくり未来事業について・・・予算内示
 - 4 そ の 他
 - ・平成30年度まちづくり未来事業事例紹介
 - 5 閉 会

【会議概要】

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告・協議

- ・藤島地域振興計画（案）について・・・最終案
- ・平成31年度まちづくり未来事業について・・・予算内示

4 そ の 他

- ・平成30年度まちづくり未来事業事例紹介

5 閉 会

2. 上野隆一 会長挨拶

皆さんこんにちは。本日は4回目の懇談会となります。実は今年度が委員の任期である2年という事になります。1年の方もおられるかもしれないですけども、一応この懇談会委員の任期が今期末、つまり3月末で終了という事でありまして、2年間の総決算を今日行うという事でやらせて頂きます。この2年間の間で実は大きく変わった事が、先の選挙で市長が代わったという事が一番大きな出来事かなと思っております。地域にとってはこの交代が私としてはプラスに作用しているのではないかなというふうに思っております。今日はこれから協議に入りますけれども、地域未来づくりの予算がこの資料にもありますが、藤島は6千万ほど計上されるようです。役所の方に伺った所では、6千万というのは他の地域と比べても一番大きい予算だという事でした。ただこの数年間の間で、実はこの藤島の人口の推移というのが残念ながらあまり良くありません。今までこの合併町村の中では旧鶴岡市を除けば藤島が一番都市化しているというか人口減少の少ない地域であったわけですが、最近は羽黒、それから楡引にも抜かれておりまして、どうも段々藤島の活気が失われてきた所があります。この辺の所をなんとか打開策を見つけ、来年度、再来年度の懇談会の中でも問題の焦点を合わせ、人口対策という事も考えていかなければいけないと思います。しかし、この2年間の間でなんとなくこの藤島の今後あるべき方向性というか、目標とすべきものが私としては集約されてきたのではないかと感じておりまして、今日最終の検討会を行って方向性を確認出来ればと思います。今日はこの後、懇親の場がありますのでそんなに長い時間の会議にはならないと思います。大体17時ぐらいまで会議を進めてその後懇親の場という事になりますので、引き続き皆さんから活発なるご意見を頂きたいと思います。本日はどうぞよろしくお願ひします。

3. 報 告・協 議

- ・藤島地域振興計画（案）について・・・最終案
- ・平成31年度まちづくり未来事業について・・・予算内示

○上野隆一 会長 只今、31年度のまちづくり未来事業と5年間に渡る地域の振興計画の件ですが、よくよく検討していくと別物のようで実はほとんど一緒なのかなと思います。ここに至るまでの話を聞いていますと、この計画に載らないものは今後事業化できにくいということです。これは役所の都合かと思いますが、まず皆さんからこの計画の中に「いやこれ載ってないんじゃないんですか？」というような意見やご指摘がございましたらここで出して頂きたいと思います。私は商工会長をしているので、この資料を拝見すると商工関係がほとんどないんです。最後の方に1個だけありましたが、暮らしやすい藤島を実感できる生活基盤の再構築の中の定住支援住環境等整備事業と、非常に分かりにくいような項目でしたが、この中の諸工業のインフラ整備のような事で辛うじて救われているようなので、1つだけでは物足りない気はしますがまずは安心しました。そして、ここに三和の方がいますが、京田川や藤島川は去年は3回も氾濫しかけて危なかったというその内容は載っていますが、果たしてこのぐらゐの表現でいいのか。もう少し強く表現出来るものであればした方が良い気がします。もちろん相手が県ですから県にもっと強く要求するとか、具体的に予算化をお願いするとか、あとこんなことがしたいと表現するとか。私はこういったところを盛り込んでいくべきと思いますが、皆さんからも何かあればどうぞ言って頂きたいと思います。

○A委員 上野さん、地元で言いにくいかもしれませんが、三和の住民として京田川の冠水については先般、町内会の総会の中で説明があり、上野さんの計らいで庁舎兼地元の方々と一緒に今進んでいるというような報告がありました。地元とすれば今年31年度またどういった災害、水害が来るか分からないので、予算もあるわけですが、計画の実行は今年度中は難しいような説明でしたがそんな悠長な事言っていて良いのかと地元としては思いました。難しい部分もあるのかもしれませんが、早急に対応して頂ければありがたいと思います。それで、今会長さんの方から他の部分というような事でしたので、私は観光協会という立場からですが、三大イベントとHisu花のイルミネーションとあるわけですが、例えば藤の花のライトアップという事で各四季折々のイベントがこれから出来るのかと思います。その予算確保をして頂いたのが大変ありがたいと思います。しかし、この総予算、まちづくり未来の一覧表を見て6千万という話であり、冒頭挨拶の中でも藤島地域は突出しているという話がありましたが、中身についてはハード整備である、エコタウンセンターと文化記念館のリノベーション事業を合わせると3,600万という全体の6割くらいを占めるという事になります。その中でエコタウンセンターについては空調設備、という事なのでハード面だけという事ですし、文化記念館に関してもエアコン改修ということで2,120万のうちどのくらいがエアコンの予算なのか、聞かせて頂ければと思います。いわゆるハード面が多すぎて、逆に藤島地域の特色が出てないのではというふうに思います。施設整備が老朽化しており、どうにもならないわけですがそのハード面がまちづくり

未来事業の予算のどういう部分なのか。本所でやってもらえればもっと特色のある藤島のまちづくり未来のお金に回せるのかなど、思いましたのでその点ひとつと、あと Hisu 花の藤の花がまだ見頃という所までは成長しておりませんが、やはり今後さまざまな子ども向け設備の整備や、オープンカフェなど、これから活発にさまざまな事業が出てくるので入場者も増えてくるのかと思います。それに伴い、藤棚の根の部分を踏まないようなあしかがフラワーパークなどを参考に藤棚の整備をして欲しいとの要望も観光協会内でありましたので一言付け加えておきます。よろしくをお願いします。

○上野隆一 会長 今何点かA委員からご意見というか質問含めありましたが、それに対する回答をお願いします。ひとつは防災の件。それから前回の予算の中身、そして Hisu 花の関係など、まずお願いします。

○成澤 産業建設課課長補佐 今京田川と藤島川と大雨が降ると水位が高まるという事で避難騒ぎの対応頂いたわけですが、京田川の進捗状況については只今田中さんの方からお話あったように、県の方から29年度から着手を頂いており30年度は現地の測量をされた。そして30年度のうちにその測量の上で用地の面積が確定して用地交渉も進めていく予定でしたが、地図の混乱という事で時間が経過してしまい31年度にようやくその用地交渉、用地買収を進めていってそれが完了すれば工事の方も出来るかもと、いうふうに聞いております。その進捗についてはこちらの方でも早期事業進捗という事を求めているという風に考えております。藤島川につきましては只今具体的なハード事業についてはございません。河川が整備されてから経過して土砂が溜まっていたり、護岸あたりに生えている樹木が大きくなり流れを阻害しているような木の伐採など、河川の中の土砂の浚渫といった事の対応を求めている。それが随時やって頂いてる部分でもありますので今後出来るだけやって頂くように働きかけるという事で進めておりますので河川については以上の所で説明とさせていただきます。

○武田壮一 支所長 河川でちょっと補足します。藤島川に関しては長沼の方に排水ポンプが今まで5機設置され、来年度1機増設になります。少し容量が小さいですが、それで少し対応強化しますし、京田川については具体的にこれだという申し上げるものはありません。消防長と色々協議をしているんですが、消防の方に排水対策車というものが31年度に入ります。それにそれなりの容量のポンプが2機設置されているという事で、それを京田川が越水する場面があった時にそれを土のう積みと合わせて上手く使っていけばいいのか。これは消防長と私との立ち話でのやりとりなので今後そういう対応に効果があるのか検討していきたいと思っております。後はソフト事業の方で少し物足りないというご指摘がありました。これは非常に大切なお指摘だというふうに受け取っております。一方で、このまちづくりを進めるのは庁舎のみならず、関係機関あるいは関係者と地域をあげて一緒に連携をして一緒に汗をかいて進めるということが非常に重要だと思っております。来年度

はまず第一弾、農業振興の面で藤島農産物元気食楽部をこの3月28日設立予定にしておりますが、その中で庁舎も農協も改良区さんも農家も同じ目的を共有して、具体的な戦略を一緒に取り組むというような体制を強化してまいりたいと思います。他の分野についても藤島のまちづくりについても暮らしの再構築についても、色々な方々と連携をするという部分は共通化してまいりたいと思いますのでまず次年度以降、そのソフトの充実については努めていきたいと思っております。

○齋藤 隆 主査 この度のまちづくり未来事業の一大事業であります東田川文化記念館リノベーション事業の内容について若干説明したいと思います。総額で2,120万という内示を頂いておりますがこのうち、エアコンの改修については1,400万ほど予定しております。改修という形にはなっていますが、ご存知の通り東田川文化記念館平成8年開館しておりますのでそれ以降エアコンの取換えを行っておりません。「時々利かなくなった」という声が聞こえてくるので改修の時期が来ているのかなと思い、その改修分としましては900万ほど、残り500万は現在ついていない明治ホール分と考えております。明治ホールは梅雨時から9月までだいぶ暑い時期続きますのでその期間を利用したいという要望もお聞きしております。その関係もありその500万円ほどで明治ホールの方に増設という形で今回の予算では入っております。残り700万近くあるわけですが、こちらについては展示の改修及び現在藤島地域の中で生涯学習施設としては記念館唯一でございます。本年度も一部行っておりますが照明の改修も取り組んでおります。お気づきの方もおられるかと思いますが、少し値段は高いですけれども色が綺麗に見える、正しい色で見えるLED化での改修を行っております。そういった事も含めまして生涯学習施設として住民の方から広く利用して頂きたい施設という形として、改修という事で今回の一番大きな額の配慮を頂いております。以上でございます。

○成澤 産業建設課課長補佐 すいません、もう一つ。大藤棚の下の通路の事で。あしかがフラワーパークの状況は私も見に行った事がございます。すごく大きい藤棚の下が丁寧に草が刈られてあり、そこに根を保護するためにすのこを敷いて歩けるようにしてありました。藤島の歴史公園にも根を保護するための方法を参考にして設計したという事で十分にその藤棚の下も歩けるような通路整備にはなっております。これからその大藤棚の下の藤が見事に咲いた時にもっとその中に入りたいというような要請があつてそれに答えなければいけないというような事があれば、また追加でその措置を考えていかなければいけないかなと、今の所は考えてございます。以上です。

○B委員 一年何か月前にまちづくり未来事業の施策を打ち出されたわけですが、他地域や藤島にとっては活気的な施策だったと思っておりますし、住民にとってももやもやした霧が晴れるような、期待される施策であったのではないかと思っております。また地域庁舎の職員もやる気を引き出した施策だったのではないかと思っております。私もまちづくり未

来検討会議の委員として出させて頂いておりますけれども、藤島がいち早く取り組んでリードしてきたという事で特にイルミネーションについては良かったのではないかと考えております。それから予算的には6,000万円という事でありまして、改修について1,500万円ほど、少し気になるわけですが三つの藤島の特色のある分野で予算が入るようになりました。農業分野についてはやっぱり農家の参加がなければ進んでいかないので農家のやる気を引き出して頂ければと思っております。藤の里のまちづくりについては住民が実感できるような推進施策であると思っております。また公共交通については先般八栄島で研修会がありましたし、地域に密着した施策をお願いしたいと思っております。この事業が藤島の特色ある活性化にさらに結びつく事を期待しております。それで質問ですが、聞きたい事は全て質問されたので一つだけ。体育館のトイレ等は直ったのですか？その点を聞きたいと思っております。

○上野隆一 会長 トイレの工事の件、誰かわかる人いませんか？

○B 委員 これは住民から要望があった件ですので、今年何か地域の予算として一千万ついたという事を聞きましたが、そういった予算があるなら早々に直してもらおう事が住民の要望に応える事になると思っております。

○武田 支所長 スポーツ課の所管の施設で、今回スポーツ課所管の体育館の藤棚は藤島庁舎で未来事業につけました。これも要望を受けての配慮なわけですが、トイレについては問題把握しておりませんでした。

○C 委員 トイレは今は漏れてはいませんよ。ただフロアの屋根が雨漏りしており、雨が降ると今でもバケツを三か所くらいに置いてあります。

○上野隆一 会長 今この場で出た話はきちんと現場を確認し、直すなら直す、直さないなら直さないなりの判断をしていってほしいと思っております。

○菅原 総務企画課長 組織の中では教育委員会の予算枠の中で小規模修繕枠で補足されていて、その中でスポーツ課の方から藤島地域内の体育施設で特に修繕が必要な施設の確認は取っています。その中では添川の改善センターが老朽化して雨漏りするという話であり、担当ベースでは聞いておまして、これには地域のまちづくり基金を当て、修繕の計画はしております。そういうふうに話を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、ご了承いただければと思っております。

○上野隆一 会長 指名する時間がないので手を挙げた人だけお願いしたいと思います。

OD 委員 今いろいろな会議の中で時折話題になるのが藤島の農協倉庫の後問題ですね。まもなく廃止の方向に行くだろうと思っています。今いこいの村の後利用という事で盛んに議論されていますが、おそらくその後は農協倉庫をどうするんだという事を押し込んでいくのが藤島地域としての大きな仕事であるだろうと思っていますので、今々この予算の中でどうこうするという事ではないと思いますが、ひとつこれからしっかりと内容等を整理して今からやってもらえたらありがたいなと思います。

OE 委員 イルミネーションですけれども、結構今年は評判が良く何度か回を重ねて訪れたという話をきいております。ただ点灯期間が1カ月ぐらいで、どのくらいの費用がかかるのか分かりませんが、もう少しライトアップの期間の延長と、それからどうしてもイルミネーションの点灯というと夜間なわけですが、日中、冬休みなどに子ども達が遊べるようなイベントなども提案してもいいのかと思うので、今後の具体的な事業推進にあたってその辺も検討頂ければと思います。それからもう一点、公共交通白空地帯の解消という事で取り上げて頂いておりますが、先般八栄島・長沼地域の役員の方々を対象に研修させてもらいました。地元で一番不安なのは、北側なので、どうしても行政の費用を使って運行するとしたときに、鶴岡志向ありきだと何も先に進まないと思います。というのは、この地域は三川・酒田・庄内と北の方にも人口移動があるわけなので、そういった広域的な利用も可能とした考え方や調整が必要との調査結果も出てくるとは思いますが、その結果を尊重して頂きたいという要望です。

○上野隆一 会長 要望事項ですのでぜひ、検討の方よろしくお願いします。

4. その他

・平成31年度まちづくり未来事業事例紹介

— 資料 により説明 — 産業建設課エコタウン室主査 高橋智也

— パワーポイントにより説明 — 地域まちづくり企画調整主査 齋藤優

○上野隆一 会長 すいおうは私も一年間半ぐらい毎日スムージーに入れて飲んでいました。もともと血糖値が高かったのですが、今はだいたい上限のところでそれ以上は上がらないようなので、血糖値の方には効果があるのかなと思います。実際すいおうは結構効くと思いますので、ぜひみなさんも摂取してみてください。

○武田 支所長 あいさつ どうも、みなさん本日はお疲れ様でございました。予定より30分延長になってしまいました。申し訳ございません。今年度は第二次鶴岡市総合計画の策定でございまして、藤島地域振興計画を新たに策定する事になりました。加えて市長公約のまちづくり未来事業についてもご意見を頂戴することとなり、この懇談会も今年度4

回も開催という事で大変ご苦勞おかけしたと思っております。委員の皆様にはお忙しい所
ご出席いただきまして地域課題と施策の方向性につきまして、それぞれの立場から活発に
ご協力頂き大変感謝申し上げますのでございます。新年度からは新しい計画が目指す地域の
実現に向けて地域まちづくり未来事業が本格的にスタートするわけでございます。事業の
実施にあたりましては地域のみなさま、関係団体そして行政がしっかりと役割分担をし、
知恵を出し合い協力して取り組むことが不可欠であると考えております。そんな事で先ほ
ど第一弾、農業分野の委員会と言いますか元気食楽部を28日立ち上げまして、4月、5
月、6月で農家の募集をさせていただきます。また、今画像ではワークショップの事もご報告
をさせていただきました。それぞれ元気クラブの方も各部会長が決めておりまして5、6人お
りますが、こういう方向でやりましょうと非常に意欲的な案がどんどん出てきます。ワー
クショップでも先ほどの報告にありましたように、こういうまちづくりをしようとする
機運が出てきたという事で、まちづくりの議論を今年度重ねて、これが一番大きな財産だ
ったのかなというふうに思います。ぜひ事業の充実に取り組んでまいりたいと思います。
そういう意味では委員の皆様は任期もこの3月という事になっておりますけれども、目指
す地域の実現に向けまして、なお一層のお力添えを頂きますようよろしくお願い致します。
冒頭会長の方から人口減少対策の打開策が必要だというお話を頂きました。この地域振興
計画はその一点を常に頭に入れて、それに向けての計画というふうに認識しておりますの
で引き続きご支援の方お願いしたいと思っております。ひとつだけ明るい話題をご紹介します
が、住民基本台帳の1月末の藤島の人口が10,091人でございます。一万を切る目前には
なっておりますけれども2月末が10,097人、6人増えております。おそらく一時的なもの
だと思っておりますが、これはどういう状況でこうなったのかそういった事もしっかり検証しな
がらなんとか歯止めをかけていきたいなと思っております。ほんとに滅多にない明るい話題なの
でご紹介させていただきます簡単ですが、あいさつとさせていただきます。本当に有り難うござ
いました。

5. 閉 会